

【学校だより】

# かがやくこころ ver3



令和4年 5月 27日(金) 第 4号

## 鯖街道踏破体験活動に参加してみて

すでに新聞でも掲載されご存知の方も多いと思いますが、去る5月25日(水)6年生による鯖街道踏破体験活動が実施されました。天候に恵まれて昨年は実施できなかった活動を、6年生と一緒に私(校長)も体験させていただきました。何とか足を引っ張らないように歩いたつもりですが…。さて、6年生と一緒に参加することで気づいたことがいくつかありました。



- 途中で辛くなった仲間を励まし、荷物を代わりに持って歩いてくれる6年生がいた事
- 鯖街道を歩く目的を忘れそうになった時、急遽話し合いの時間をもって目的を再確認する6年生がいた事
- 途中で足が痛くなり歩くのが困難になっても、しばらくバスで休んだ後、もう一度歩き始め目的地まで自力で行けた6年生がいた事
- 暑さのため体調が悪くなっても、途中であきらめずに最後まで自力で歩ききった6年生がいた事
- みんなのゴミを自主的に集め、自分が持ち運んでくれた6年生がいた事
- みんなについていけない子がいると、先頭から走って一緒に歩いてくれる6年生がいた事
- 昼食場所でお世話になった方を先に案内したり、後片付けを指示したりできる6年生がいた事
- 黙食を完全実行できる6年生がいた事
- 大人のいる前でも堂々と自分の意見が言える6年生がいた事

ここでは書ききれない程の「驚き」「感動」をみんなは見せてくれました。わたしは出発式でみんなに「今日は楽しみましょう」と話をしましたが、それ以上にみんなは今回の活動を多くの学びの場、成長の場として私たち大人に提供してくれました。

「学級は外に出た時に、学級の本物の姿が分かる」と私もこれまで先輩の先生たちに言われてきました。予期せぬことが発生した時や本当に自分がつらい時に、その人の本当の考え方や生き方が出てくるものなのですが、彼らは「参加した全員で鯖街道を踏破する」という目的をみんなが最後まで心に持ち続けていたのだと私は思っています。

6年生の成長に感動し、その場に一緒にいることのできた事の喜びをかみしめながら、私は帰路につきました。



## 自転車利用者の保険加入が義務付けられます

いよいよ7月1日から「福井県自転車条例」により保険加入が義務付けられたり、中学校以下の子ども達のヘルメット着用が努力義務として保護者に求められたりします。暖かくなり自転車を使う機会も増える季節となりました。自転車に乗っていて歩行者や自転車同士でぶつかって大きなけがをおったりおわせたりしないように、安全運転に心がけることやもしもの時のために保険加入をぜひお考え下さい。